新居	浜丁業高等	 等専門学校	開講年度	令和06年度(2024年度)	授	 業科目	英語 1		
—————————————————————————————————————		<u> </u>	. 1736171	ты постос (жна) (L		
科目番号	WEIDTK	101720			科目区分			·修		
<u>- </u>		講義		単位の種別と単	位数	履修単位				
開設学科		生物応用	 化学科		対象学年	1227	1	* *		
開設期		通年		週時間数		4				
教科書/教	MY WAY English Communication I、同 WOR					ard]、同	リスニン	·グCD(三省堂)、マーフィーのケン DUO 3.0 CD基礎用(アイシーピー)		
担当教員			·郎,田邉 水江	e oniversity Fres	s) 、D00 3.0 (.	<u> </u>	<u>L-) , i</u>	DOO 3.0 CD 全旋用(アイ クーヒー)		
到達目	票	•	·							
2. 英文法 3. 400 4. 英語を 5. 平易な 6. 自発的	の基礎を習語程度の新 正しく発音 文語音声を 対な英語学習		:ができる。	できる。						
ルーブ!	ノック		T		T			T		
評価項目	1		理想的な到達レーン 文構造を理解し、確に読み取れる。	、本文の内容を正	標準的な到達レベルの目安 本文の概要を理解できる。			未到達レベルの目安 日本語を介さずに本文の内容を理 解することができない。		
評価項目	2			<u>。</u> 構文や新しく導入 活用することがで		中学校で既習の構文や新しく導入 した文法事項を理解できる。				
評価項目	3		導入した単語を	にすばやく置き換		導入した単語を日本語から英語、 英語から日本語に置き換えること ができる。		導入した単語を日本語から英語、 英語から日本語に置き換えること ができない。		
評価項目	4		文の意味を理解 手に伝わるよう ができる。	したうえで、聞き に文レベルの発音	聞き手に伝わる できる。	ま手に伝わるように単語を発音 できる。		聞き手に伝わるように単語を発音 できない。		
評価項目	5		容を理解できる。			易な英語音声を繰り返し聴いて その内容を理解できる。		平易な英語音声を繰り返し聴いて も、その内容を理解できない。		
評価項目	6		自発的な英語学	習の習慣を身につ	英語学習の習慣を身につい		ける。	英語学習の習慣を身につかない。		
学科の発	到達目標項	頁目との関	係							
コミュニ	ケーション	能力 (E)								
教育方法	去等									
概要		科学・言語	語・歴史などを題材	すとした総合テキス	トを通じて、英語	4技能	『読む・聴	『く・書く・話す』の基礎を固める。 『発的な英語学習の習慣化を図る。		
授業の進	め方・方法	2. リスニ 3. 本文を 4. 文法事 5. 授業中 【DUO】 1. 語彙力	y】 語・語句の意味・品 ングCD を制用し ノートに書き写し、 項を教科書・ワーク は学習事項をノー を身につけるためい : 英会話 1、英語 2	て、進出単語の発音 日本語訳を作成で クブック・FACTBO トに書き込む。 こ「DUO 3.0」を原	fの確認と本文の音 tる。 DOKなどで確認す	る。		を行う。		
注意点		2年次以 定期的に WEBクラ	降の英語学習につた 小テストやノートチ スやTeamsを利用	♪がるよう、英語 1 -エックを行うので した教材配布ならる	で英語学習の習慣 充分な準備をして びに課題提出を行	を身にて 授業にい うので各	つけること 記むこと。 自チェッ ^ク	え。 クを怠らないこと。		
本科目の	<u>の区分</u>									
Webシラ 木科ログ	バスと本校		目区分では表記が 5「②専門基礎科目	 異なるので注意する _ である	 ること。					
		<u>9月2記載する</u> 8上の区分		」 この.の。						
	禹1生・ <i>1</i> 復19 ティブラーニ		☑ ICT 利用		□ 遠隔授業対応	<u></u>		□ 実務経験のある教員による授業		
			•		•			•		
授業計画	画									
		週	授業内容			週ごとの	の到達目標			
			Introduction, Less World	ntroduction, Lesson 1: Proverbs a		round the 1,2,3,4,5,6				
			esson 1: Proverbs Around the Wo		orld 1,2,3,4,5,6		1,5,6			
	1	3週	Lesson 2: Iwago		1,2,3,4,5,6					
	1stQ	4週	esson 2: Iwago Mitsuaki			1,2,3,4,5,6				
		5週	esson 3: Sending Canned Mackerel to Space			1,2,3,4,5,6				
前期				esson 3: Sending Canned Mackerel to Space			1,2,3,4,5,6			
	1		中間試験	間試験						
				esson 4: Messages from Winnie-the-Pooh			1,2,3,4,5,6			
	1		Lesson 4: Messages from Winnie-the-Pooh			1,2,3,4,5,6				
	2ndQ		Lesson 5: Endan		1,2,3,4,5,6					
			Lesson 5: Endan	5	1,2,3,4,5,6					
	1	12週	Lesson 6: A Whe		1,2,3,4,5,6					

		13週	Lesson 6: A Wheelchair Traveler	1,2,3,4,5,6
		14週	Reading: The Tale of Johnny Town-Mouse	1,2,3,4,5,6
		15週	期末試験	
		16週	TOEIC Bridge対策	
		1週	Reading: The Tale of Johnny Town-Mouse	1,2,3,4,5,6
		2週	多読学習	1,2,3,4,5,6
		3週	Lesson 7: The Fugees	1,2,3,4,5,6
		4週	Lesson 7: The Fugees	1,2,3,4,5,6
	3rdQ	5週	Lesson 8: Avatar Robots	1,2,3,4,5,6
		6週	Lesson 8: Avatar Robots	1,2,3,4,5,6
		7週	中間試験	
36. ₩D		8週	Lesson 9: Kadono Eiko and the Power of Imagination	1,2,3,4,5,6
後期		9週	Lesson 9: Kadono Eiko and the Power of Imagination	1,2,3,4,5,6
		10週	Lesson 10: SDGs	1,2,3,4,5,6
		11週	Lesson 10: SDGs	1,2,3,4,5,6
	4thQ	12週	Lesson 10: SDGs プレゼンテーション	1,2,3,4,5,6
		13週	Lesson 10: SDGs プレゼンテーション	1,2,3,4,5,6
		14週	Lesson 10: SDGs プレゼンテーション	1,2,3,4,5,6
		15週	期末試験	
		16週	総復習	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	1	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文社会科学	英語	英語	聞き手に正しく伝わるよう、語・句・文における強勢、文におけるリズム・イントネーション、音のつながり・区切りを意識しながら明瞭に音読あるいは発話できる。	1	前1,前2,前3前4,前5,前6前前前5,前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前		
				中学校までに学習した語彙の定着を図り、高等学校指導要領に準 じた新出語彙、及び専門教育に必要となる語彙を習得して適切に 運用できる。	1	前 1,前4,6 前 1,前前前前 1,前前前前 1,前前前前 1,前前前 1,後後 4,後 4,後 4,後 4,後 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4,		
				中学校までに学習した文構造及び文法事項に加え、高等学校学習 指導要領に準じた文構造及び文法事項について習得して適切に連 用できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前61,前61,前前前前前前10,211,前前14,62,62,62,62,62,62,62,62,62,63,63,63,63,63,63,63,63,63,63,63,63,63,		

	日常的な話題や社会的な話題について、はっきりとした発音で、 調整された速さで話された内容から、必要な情報を聞き取り、話 し手の意図を把握できる。	1	前 3,前4,前 5,前 1,前4,前前前 11,前4,前前前 11,前 11,前前前 11,前前前前 11,前前前前前前前 11,前前前前前 11,6後後後 11,4後後後 10,4後後後 10,4後後後 10,4人位 11,4人位 11
	日常的な話題や社会的な話題について、基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話すことができる。	1	前1,前2,前3前6,前16,前前前前前前14,6 11,前前前前14,6 11,前前前前14,6 11,前前前前14,6 13,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
	日常的な話題や社会的な話題について平易な英語で書かれた文章 を読み、その概要を把握して必要な情報を読み取り、書き手の意 図、概要や要点を把握できる。	1	前3,57,前1,前6,前2,4,6,前1,前前前前前前前前114,後後後後113,5,後後後後114,6,前前前前前前14,後後後後124,4,6,前前前前前前後後後後後124,4,5,前前前前前前後
	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見や感想を整理し、情報や考え、気持ちなどを伝える文章を書くことができる。	1	前1,14,16 前1,前前前前1,15,前前前前前前前前前前前前前前前前前前前,14,4後後後後後後後後後後後後後後後
	母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢を持ち、実際の場 面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	前1前2前 3,前4,前 5,前6,前前 7,前8,0 9,前10,2 113,前前 113,前前4 13,前前4 13,前前後 13,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後

評価割合				実際の場面や目的に(ジェスチャー、フ	に応じて、基本的なコミニ 7イコンタクト)を適切(1二ケーション方略 I用いることができる	1	前1前2 1,前4,前 1,前4,前 1,前6,前 10,前 11,前10,1 11,前前 11, 13,前 14,後 14,後 14,後 10,後 10,後 10,後 11, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10,
PI IMIDI	試験	試験			小テスト	発表	合計	
総合評価割合	60			20	10	10	100	
基礎的能力	60	60		20	10	10	100	